

長引く咳、 放っておいて大丈夫!?



「咳が長引いている」、「咳が出て呼吸が苦しい」、「咳がひどくて眠れない」などの症状でお悩みではありませんか？

新型コロナウイルス感染症の流行に配慮して人前で咳をしないように気を使ったり、咳の後遺症に苦しめられたり…。日常生活に支障が出ている人も多いのではないかと思います。一般的に風邪で咳が長引く場合は、2週間程度で自然に治ることがほとんどです。しかし、2週間や3週間が経過しても咳が続いている場合は、原因が風邪でないことが多く、注意が必要です。

長引く咳の原因

以下の可能性があります。「多分大丈夫」ではなく「もしかしたら」と意識することが大切です。

- ・咳喘息、気管支喘息
- ・アトピー咳嗽、喉頭アレルギー
- ・胃食道逆流症（逆流性食道炎）
- ・後鼻漏、副鼻腔気管支症候群
- ・感染後咳嗽
- ・COPD（慢性閉塞性肺疾患）、慢性気管支炎
- ・薬剤による咳嗽、心因性咳嗽
- ・肺がんや結核、間質性肺炎など様々な肺疾患 など



長引く咳の診断・検査と治療

症状や経過を確認し、診察後に胸部レントゲン、肺機能検査、血液検査や胸部CTなどの必要な検査を組み合わせる咳の原因を調べていきます。

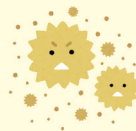
長引く咳の原因は様々ですので、原因に合わせて内服薬や吸入薬などを用いて治療を行います。



咳が長く続くと体力を消耗しますし、精神面にも与える影響が大きく、会話や睡眠、外出などの日常生活が制限されることもあります。
適切な治療が行われない場合には、気管支喘息へ移行してしまうものや、肺がんや結核などの命に関わる重大な病気が潜んでいることもありますので、咳が長引く時は放置せず、お早めにご相談下さい。



花粉症と気管支喘息について



2月上旬より九州地方はスギ花粉のシーズンがスタートする見込みです。

今年は、昨年よりもスギ花粉の飛散量が多く飛ぶ見込みであり、昨年は症状が軽かった方も万全な花粉症対策が必要になりそうです。

気管支喘息では約80%にアレルギー性鼻炎が合併し、花粉症によるくしゃみや鼻水が悪化する時期に一致して喘息症状が悪化することが多く、気管支喘息と花粉症は密接な関係があります。

当クリニックでは、適切な診断と吸入薬・点鼻薬・内服薬などを組み合わせて症状の改善を目指します。また、スギ花粉症やダニアレルギー性鼻炎に対しての舌下免疫療法も行っておりますのでお気軽にご相談ください。

